

英語科学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校
教諭 〇〇 〇〇
英語指導アシスタント
〇〇 〇〇

- 1 日 時 平成29年10月〇日 (〇)
- 2 学年・組 第6学年〇組
- 3 単元名 Lesson7 「説明しよう」(2) 道案内

4 単元の目標

- ことばを組み合わせて言葉をつくる活動を通して、ことばへの興味・関心をもつようにする。
- 建物やものなどの場所をたずねたり伝えたりして、建物や家庭で使うものなどの言い方に慣れるようにする。
- 建物やものなどの話題で、友達と楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けるようにする。

5 指導に当たって

本学級の児童は、1年生の時から単学級だったこともあり、男女仲がよく、授業や学校行事に対しても積極的である児童が多い。英語を学習することに対しても積極的な児童が多く、コミュニケーション活動や日頃の帯タイムも意欲的に取り組んでいる。

6月に、校外学習として、平和公園で外国の方にインタビューをする活動を行った。質問は児童が考え、英語に訳せないものは英語指導アシスタントに英訳してもらった。また、やりとりの方法を授業において練習を重ねた上で、外国の方との交流に臨んだ。交流後のふり返りでは、「目を合わせて笑顔で接することができた」「外国の方々と英語で交流するのがこんなに楽しいなんて思ってもみなかったからとても驚いた」など、実際に外国の方と英語でコミュニケーションすることの楽しさを実感した児童が多かった。また、「外国に行ってもっときちんとした発音を学びたいと思った」「もっと英語がうまくなれば100点。大人になって、またやってみたい」など、向上心が見られる感想もあり、英語を使う必然性、他者とつながる喜びを体験することの意義の大きさを実感した。

校外学習では、児童に英語を使う目的意識があり、外国の方に「これを質問したい!」という内発的な動機付けがあったことによって、当日までの授業でも積極的に練習する児童が多くみられた。しかし日常生活においては、外国の方と交流できる機会は限られている。そのため、日々の授業で「英語を勉強しよう!」と励まして、それに応える児童は決して多くはないと考える。また、児童の中には「英語に自信がなかったからあまり言えなかった」「言えたけど、声が小さかった」という感想もあり、英語に対して苦手意識をもつ児童もいるのが現状である。

そこで、これらの現状を踏まえた上で、「ことばを使う楽しさを味わえるコミュニケーション活動」という観点から、授業づくりの工夫を考えた。

「ことばを使う楽しさ」とは、「他者とつながる喜び」であると考える。自身の伝えたいことが相手に伝えられる、相手の伝えたいことも理解できる、そこに楽しさが生まれる。外国の方へのインタビュ

一活動の振り返りで、「あまり通じないと思っていたけど、すぐに通じて、すらすらできたから、外国の人とは少し英語がまちがっていてもきちんとつながるんだなと思った」という感想があった。

「英語」という道具を使ったコミュニケーションには、特有の「不便さ」や「難しさ」が伴う。しかし、多少間違えた発音や言い方でも、相手に伝えることができるし、相手が伝えたいことが自分なりに理解できる。それに気付けば、そこに喜びを感じることができると考える。また、その「不便さ」や「難しさ」を超えて、友達の思いや意外な一面に気付いたり、仲間との協力を通して、仲間の大切さに気付いたりすることができれば、そこに「ことばを使う楽しさ」は必然的に生まれてくるものだと考える。

ことばを使う楽しさを味わえるコミュニケーション活動の工夫

○ 本時までの工夫

・ スモールトーク

友達とのスモールトークを、毎回の帯タイム、授業の最初に行っている。その際、1回目は、児童はジェスチャーのみで伝える。2回目は英語も使って伝える。この活動は、ジェスチャーの大切さ、英語の便利さを感じることを目的としている。また、スモールトークでは機械的なやりとりにならないために“Why?” “Because～”も使って交流をしている。英語での表現方法が分からないときは日本語を使ってもよいこととしている。

・ 本時のめあてを児童に考えさせること

デモンストレーションの場面で、できる限りめあてを児童に考えさせる。本時の課題意識をより明確にさせることで、本時の活動の意味を理解させ、児童のモチベーションにつなげることを目的としている。

・ 振り返りシートの活用

授業終わりの振り返りの時間をできる限り確保している。その中で出された感想を、次の授業の最初に児童に伝える。主に、①友達との協力「〇〇さんのおかげで分かった」、②友達の意外な一面「〇〇くんの好きな教科が社会と英語で、自分と全く同じだったのが意外だった」、③おもしろかったことの共有「自分と同じ意見の人がいても、理由がちがうのでおもしろいなと思った」④難しかったことの共有「11と12の言い方が難しかった」、⑤英語の疑問「『道徳』は英語ではなんと言うのか」、⑥ことばについての新しい気付き「baseball はベースとボールがあるから野球なのだなと思った」の6点を中心に伝えるようにしている。特に、①と④については、英語の学習に対して不安を感じている児童に対して、不安なのは自分だけではないということ、友達をどんどん頼っていいということを伝えるために、積極的に共有するようにしている。

・ コミュニケーションを大切にすること

英語という道具を「使わされている」ではなく、「気づいたら使っている」「使うのが楽しい、なんだかおもしろい」という気持ちにさせたい。そのため、普段のコミュニケーションの延長で英語が使えるようになれば、と考えている。また、英語を使うことに加えて、笑顔でハイタッチする、自由に立って移動する、など児童同士のコミュニケーションが自然に行われるような取り組みを活動の中に取り入れたり、プリントを渡すときに目線を合わせる、うなずくなど、教師と児童のコミュニケーションも大切にしたりしながら、授業を行えるよう努めている。

○ 本時での工夫

・ カレー・リピート

本研修第1日で、講師の先生が実践例として示されていた「カレー・リピート」を、「建物・リピート」に変えて行う。〇〇団地にほしい建物かそうでないかを、イントネーション、ジェスチャーや顔の表情などで表現させながらリピートさせ、英語指導アシスタントに思いが伝わるようにさせたい。

・ 身近で意欲的に活動できる場面設定

題材として、〇〇団地の地図を使い、どんな建物がどこにほしいかを自分で決定する時間を確保する。前時では、同じ題材で here・there・over there を学習し、およその場所を指す表現方法に触れている。本時では、その場所について、実際に〇〇小からの行き方を説明するというコミュニケーション活動を行い、ことばを使って相手に詳しく思いを伝えることができる楽しさを味わわせることを目指したい。その際、「〇〇まちづくり課職員」として、「住みやすい」や「便利」という視点で、児童自身の考える理想の〇〇団地を提案すること、「外国人投資家」として、よいと思った提案に対して共感の態度で受け答えることを説明し、児童がより意欲的に活動できる場面を設定したい。

6 単元の評価の観点（評価規準）

ア ことばや文化に関すること	イ 聞くこと・話すこと
○ ことばを組み合わせる新しいことばをつくり、ことばの仕組みや、ことばをつくることの楽しさなどに気付いている。	○ 建物の名前を聞き取ったり、伝えたりしようとしている。 ○ 英語の指示を聞いて反応したり、建物などの名前を伝えたりしようとしている。 ○ 家庭で使うものの名前を聞き取ったり、伝えたりしている。

7 学習計画（全4時間 本時2/4）

時	タイトル	学習活動	評価規準	評価方法
1	建物のある場所	○建物などの場所をたずねたり、答えたりして、建物などを表わす単語の言い方に慣れる。	○建物の名前を聞き取ったり、伝えたりしようとしている。【イ】	・行動観察
2	道案内	○場所を伝える英語の指示や建物の名前の言い方に慣れる。	○英語の指示を聞いて反応したり、建物などの名前を伝えたりしようとしている。【イ】	・行動観察 ・ふり返りカード
3	さがしもの	○もののある場所をたずねたり、答えたりして家庭で使うものを表わす単語の言い方に慣れる。	○家庭で使うものの名前を聞き取ったり、伝えたりしている。【イ】	・行動観察 ・ふり返りカードの自己評価
4	ことばづくり	○ことばを組み合わせる新しいことばをつくり、ことばへの興味をもつ。	○ことばを組み合わせる新しいことばをつくり、ことばの仕組みや、ことばをつくることの楽しさなどに気付いている。【ア】	・行動観察 ・ふり返りカードの記述

8 本時の目標

- 場所を伝える英語の指示や建物の名前の言い方に慣れる。

9 言語材料

- Where is ~? Turn right/left. Go straight. / Stop.

単語リスト「建物など」399～420

時間	児童の活動	教師の支援		準備評価
		T1	T2	
4分	レビュー あいさつ <ul style="list-style-type: none"> 4ポイントを確認する。 児童同士であいさつし合う。 ① サイレントトーク ② 答え合わせ AIE とのあいさつをする。 Good morning, Mr. / Ms. ~. I'm (fine), thank you. And you? Its (sunny). It's (Thursday). It's (October ○). 	<ul style="list-style-type: none"> 前時のふり返りを発表する。 <p>What are 4 points? (Big voice, Big smile, Eye contact, Big gesture)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4ポイントがよくできていた児童を褒める。 あいさつをして、気分や天気、曜日などをたずねる。 <p>Good morning, everyone. How are you? I'm (fine), thank you. How's the weather today? What day is it today? What is the date today?</p>		IWB (電子黒板)
4分	ウォーミングアップ <ul style="list-style-type: none"> フォニックス (B) 	<ul style="list-style-type: none"> 口を大きく開けている、ジェスチャーが大きいなど、積極的に発音している児童を褒める。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて再度発音のモデルを示し、練習する。 	IWB
4分	学習課題の提示 <ul style="list-style-type: none"> T1 と T2 の会話を聞いて場面や内容を推測する。 本時の学習課題を知る。 	(○○まちづくり課職員) Excuse me. I want a hospital in ○○. Go straight and turn right. Because, there are many old people in ○○, so I think they want doctors. Thank you.	(外国人投資家) Yes. Mmm. OK. But where do you want? OK. Why? OK. Good luck. You are welcome.	Big map
○○団地にほしい建物がどこにあるかをたずねたり、その道順を伝えたりしよう。				
10分	慣れ親しむ活動 <ul style="list-style-type: none"> 「建物」の発音、道のたずね方を練習する。 ① 英単語カードを見て、T2 の発音を聞きながら声に出して言う。(2回目は T2 の後についてリピート) ② 教科書を見て、T2 が発音した単語を発音して、指さす。 ③ ペアの教科書を見て②と同じことをする。 	<ul style="list-style-type: none"> T2 の後について一緒に発音する。 T2 の発音をしっかりと聞くように告げる。 2回目は、実際に、○○団地にほしいかそうでないかを、自分の感情を表現できるように発音する。 口を大きく開けているなど、積極的に発音している児童を褒める。 	<ul style="list-style-type: none"> 英単語カードを示しながら単語を発音する。 	

	<p>④ 班でハイタッチキーワードゲームをする。 (発音練習の中で、キーワードが聞こえたら全員でハイタッチをする)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 答え方の練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> • go straight の練習をする。 • left と right の練習をする。右手, 左手をあげさせて何度も確認する。 • 全員で立ち, その場で turn left, turn right で向きを変え練習する。 • 何かほかに練習しておきたい言葉はないか確認しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> • 場所を答えるときのモデルを示す。 • r と l の発音を強調し, 口元を見せながら, 真似て発音するように告げる。 • 必要に応じて, 繰り返し練習する。 	<p>英単語カード 教科書</p>				
<p>1 5 分</p>	<p>コミュニケーション活動</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>T1 と T2 とでゲームのデモンストレーションを行う。</p> </div> <p>理想の〇〇TOWN 作りゲーム バージョンII</p> <ul style="list-style-type: none"> • まちづくり課職員役として〇〇団地にほしい建物を考え, マップに記す。 • なぜその建物がほしいのか, 理由も考える。(難しい場合は日本語でもよい。) • 「理想の〇〇団地を作る上で大事なこと」「外国人投資家に説明するとき大事なこと」を共有する。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">〇〇まちづくり課職員役</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">外国人投資家役</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;"> Excuse me. I want a stadium in 〇〇. Go straight and turn left. Because, I like Hiroshima Carp. I want to play baseball in 〇〇 stadium. Thank you. </td> <td style="padding: 5px;"> Yes. Mmm. OK. But where do you want? OK. Why? OK. Good luck. You are welcome. </td> </tr> </tbody> </table>	〇〇まちづくり課職員役	外国人投資家役	Excuse me. I want a stadium in 〇〇. Go straight and turn left. Because, I like Hiroshima Carp. I want to play baseball in 〇〇 stadium. Thank you.	Yes. Mmm. OK. But where do you want? OK. Why? OK. Good luck. You are welcome.	<ul style="list-style-type: none"> • 笑顔, アイコンタクト, 声の大きさ, ジェスチャーなど, 意欲的に活動していた児童を評価する。 • 必要があれば中間評価をして, 後半の活動に生かす。 • 活動終了後は, クラスで理想の〇〇団地のアイデアを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 賞賛のことばを英語で伝える。 	<p>ワークシート or TPC [イ]</p>
〇〇まちづくり課職員役	外国人投資家役							
Excuse me. I want a stadium in 〇〇. Go straight and turn left. Because, I like Hiroshima Carp. I want to play baseball in 〇〇 stadium. Thank you.	Yes. Mmm. OK. But where do you want? OK. Why? OK. Good luck. You are welcome.							
<p>7 分</p>	<p>ふり返り</p> <ul style="list-style-type: none"> • ふり返りシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> • それぞれの結果を賞賛する。 • 児童に振り返りを発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 本時で学習した表現を確認する。 	<p>ふり返りカード (イ)</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> • 〇〇まちづくり課職員として, 理想の建物, その道順を伝えることができましたか。 • 外国人投資家として, 伝えられた道順をたどり, 理由を聞くことができましたか。 							
<p>1 分</p>	<p>あいさつ Good bye, Mr. / Ms. ~.</p>	<p>That's all for today.</p>	<p>Good bye, everyone. See you.</p>					

